

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年12月2日(2021.12.2)

【公表番号】特表2020-527592(P2020-527592A)

【公表日】令和2年9月10日(2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-037

【出願番号】特願2020-503004(P2020-503004)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/197	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 K	41/00	(2020.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 N	5/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/197	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/107	
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 K	41/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 N	5/06	Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月13日(2021.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の四肢上の基底細胞癌を処置する方法に使用するための、10%～20%の5-アミノレブリン酸HC1を含む局所組成物であって、

該方法は、

患者の四肢上の処置領域を加熱し；

前記局所組成物を、加熱された処置領域に適用し；そして、

局所組成物が塗布された処置領域に、5J/cm²から50J/cm²の用量の光を投与する、ことを含む、前記局所組成物。

【請求項2】

局所組成物が、10%の5-アミノレブリン酸HC1を含む、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項3】

局所組成物が、20%の5-アミノレブリン酸HC1を含む、請求項1に記載の局所組成物。

【請求項4】

光が、青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 5】

光が、410 nmの青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 6】

光が、380 nmと500 nmの間の青色光である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 7】

光が、LED光源により投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 8】

光が、約320 nmと約780 nmの間の複数の波長を含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 9】

複数の波長が、630 nmと640 nmの間の波長を含む、請求項 8 に記載の局所組成物。

【請求項 10】

光が、5~60分投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 11】

処置領域が、結節性基底細胞癌を含む、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 12】

光の用量が約10 J / cm²である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 13】

光の用量が約37 J / cm²である、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 14】

光が、局所組成物を適用後、1分と4時間の間で投与される、請求項 1 に記載の局所組成物。

【請求項 15】

患者の頭皮上の基底細胞癌を処置する方法に使用するための、10%~20%の5-アミノレブリン酸HC1を含む局所組成物であって、

該方法は、

患者の頭皮上の処置領域を加熱し；

前記局所組成物を、加熱された処置領域に適用し；そして、

局所組成物が塗布された処置領域に、5 J / cm²から50 J / cm²の用量の光を投与する、ことを含む、前記局所組成物。

【請求項 16】

局所組成物が、10%の5-アミノレブリン酸HC1を含む、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 17】

局所組成物が、20%の5-アミノレブリン酸HC1を含む、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 18】

光が、青色光である、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 19】

光が、410 nmの青色光である、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 20】

光が、380 nmと500 nmの間の青色光である、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 21】

光が、約320 nmと約780 nmの間の複数の波長を含む、請求項 15 に記載の局所組成物。

【請求項 22】

複数の波長が、630 nmと640 nmの間の波長を含む、請求項 21 に記載の局所組成物。

【請求項 2 3】

光が、L E D 光源により投与される、請求項 1 5 に記載の局所組成物。

【請求項 2 4】

光が、5 ~ 6 0 分投与される、請求項 1 5 に記載の局所組成物。

【請求項 2 5】

処置領域が、湿潤性基底細胞癌を含む、請求項 1 5 に記載の局所組成物。

【請求項 2 6】

光が、局所組成物を適用後、1 分と4 時間の間で投与される、請求項 1 5 に記載の局所組成物。

【請求項 2 7】

光の用量が約 1 0 J / c m²である、請求項 1 5 に記載の局所組成物。

【請求項 2 8】

光の用量が約 3 7 J / c m²である、請求項 1 5 に記載の局所組成物。

【請求項 2 9】

患者の扁平上皮癌を処置する方法に使用するための、1 0 % ~ 2 0 % の 5 - アミノレブリン酸 H C 1 を含む局所組成物であって、

該方法は、

患者の処置領域を加熱し；

前記組成物を、加熱された処置領域に適用し；そして、

局所組成物が塗布された処置領域に、5 J / c m²から 5 0 J / c m²の用量の光を投与する、ことを含む、前記局所組成物。

【請求項 3 0】

局所組成物が、1 0 % の 5 - アミノレブリン酸 H C 1 を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 1】

局所組成物が、2 0 % の 5 - アミノレブリン酸 H C 1 を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 2】

光が、青色光である、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 3】

光が、4 1 0 n m の青色光である、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 4】

光が、3 8 0 n m と 5 0 0 n m の間の青色光である、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 5】

光が、約 3 2 0 n m と 約 7 8 0 n m の間の複数の波長を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 6】

複数の波長が、6 3 0 n m と 6 4 0 n m の間の波長を含む、請求項 3 5 に記載の局所組成物。

【請求項 3 7】

光が、L E D 光源により投与される、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 8】

光が、5 ~ 6 0 分投与される、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 3 9】

光が、局所組成物を適用後、1 分と4 時間の間で投与される、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 4 0】

光の用量が約 1 0 J / c m²である、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 4 1】

光の用量が約 3 7 J / c m²である、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 4 2】

処置領域が患者の四肢を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。

【請求項 4 3】

処置領域が患者の足を含む、請求項 2 9 に記載の局所組成物。